

カナダ金融政策（2023年6月）

市場予想の政策金利据え置きに反し、3会合ぶりの利上げを決定

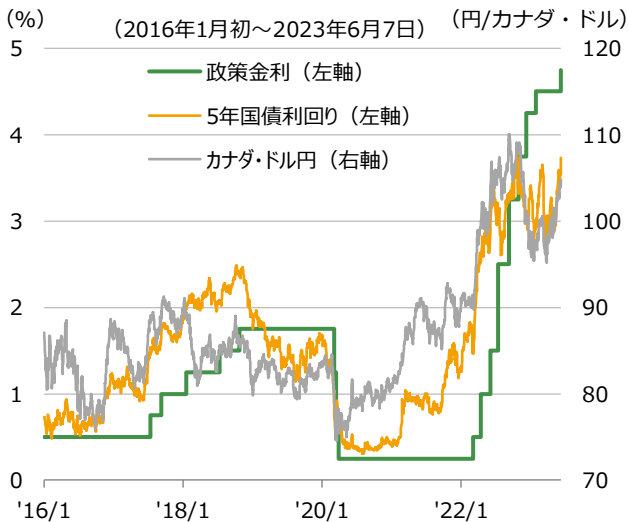
2023年6月8日

しばらくは追加利上げの思惑が燻り続けよう

カナダ銀行（中央銀行）は6月7日（現地）に金融政策決定会合を開催し、政策金利を4.5%から4.75%に引き上げることを決定しました。市場予想は政策金利据え置きの方が優勢であったため、発表後は金利上昇・通貨高の反応となりました。

同行は今年1月に政策金利を4.5%に引き上げた後、「インフレ率が予想通りに低下しない可能性を示す証拠が蓄積すれば、更に利上げする用意がある」などと述べ、政策金利を据え置きながら金融政策が十分に引き締めるかどうかを評価してきました。今回の声明文では、1-3月期実質GDPが前期比年率+3.1%と予想を上回ったこと、特に個人消費は人口の急増を差し引いても驚くほど強かったこと、より最近では住宅市場が持ち直したこと、労働市場が依然としてひっ迫していること、などを例に挙げ、需給ギャップのマイナスに転じる時期がこれまで想定していた今年後半から後ずれする可能性に言及しています。また、コアCPI（消費者物価指数）の3カ月前比年率が3.5~4.0%のレンジで推移しており、前年比でも2%を大幅に上回って推移し続ける懸念が強まったと記しています。そして、「こうした証拠の蓄積に基づく、需給バランスを均衡させ、インフレ率を2%に回帰させる上で、金融政策は十分に引き締めるのではない」と利上げ決定に至った背景を説明しています。今後の方針に関しては言及がありませんが、想定以上に堅調な経済活動や今回の利上げ決定を受けて、しばらくは追加利上げの思惑が燻り続けると考えられます。

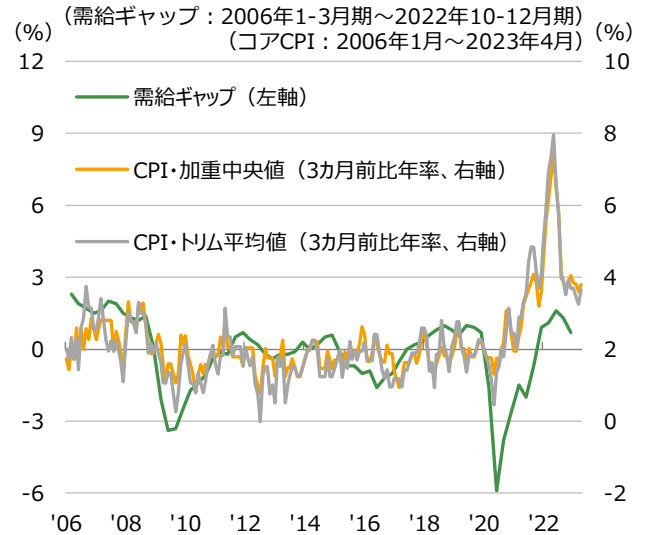
カナダの金利と為替



※政策金利は決定日ベース

(出所) ブルームバーグ

カナダの需給ギャップとコアCPI



※需給ギャップはカナダ銀行が金融政策報告書で公表している推計値

(出所) カナダ銀行、カナダ統計局

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。